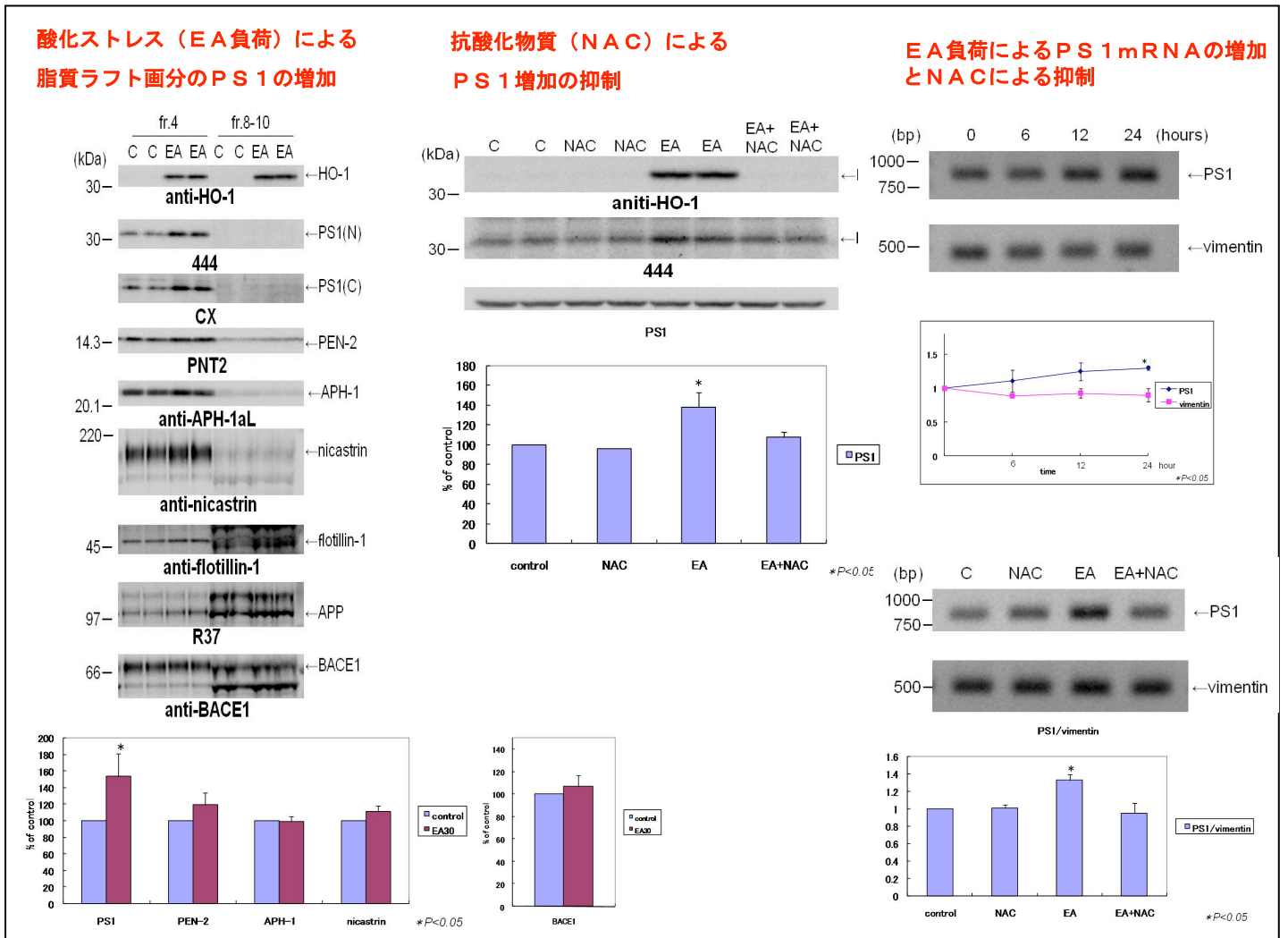


酸化ストレスはプレセニン1 (PS1) を増加させる

研究分担者：筑波大学大学院人間総合科学研究科 玉岡 晃



解 説

1. ヒト神経芽細胞腫SH-SY5Y細胞にethacrynic acid(EA)を負荷した時、脂質ラフト画分のPS1蛋白が増加した。この増加はPS1 mRNA発現増加によるものと考えられた。
2. 抗酸化物質によりEAによるPS1の増加は抑制された。
3. 酸化ストレスはPS1発現の増加を介してAβ産生に促進的に作用する可能性が考えられた。